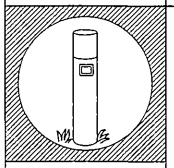
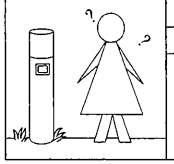
現　象		考えられる原因	処　置　方　法
人がいないのに点灯している。		電源を「オン」にした。	電源を「オン」にした直後はランプが点灯⇔消灯します。約１分後に設定モードで動作します。
	夜	周囲が暗くなった。「動作設定」スイッチが調光又は６時間調光に設定してある。	暗くなると点灯します。 「５ページ」をご参照ください。
		検知エリア内に木や水面などがある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。 検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
		検知エリア内にペットなどの動物がいる。	
		検知エリア内に雨が入っている。	
		車の通りが激しい。	検知エリア内に道路などがあると車などに反応します。 検知範囲の調整をしてください。
検知エリアに人がいるのにランプが消えた。 	夜	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内にいても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くとランプが点灯します。
		ランプが切れた。	壁スイッチ（電源）をオフしてから新しいランプに交換してください。
		周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

■お手入れのしかた

⚠ 注意　お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
このとき、ぬれた手でソケット部分にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）
■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

■器具に直接水をかけて洗わないでください。
器具の破損・落下・感電などの原因となります。
■ランプは水洗いしないでください。
ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。

⚠ 注意

■器具やセンサーをいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり腐食の原因となります。

MITSUBISHI

E761Z915H50

三菱白熱灯器具

白熱灯ガーデンライト

形名 LU5031

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

お客さまへ
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

お客様へ　●この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

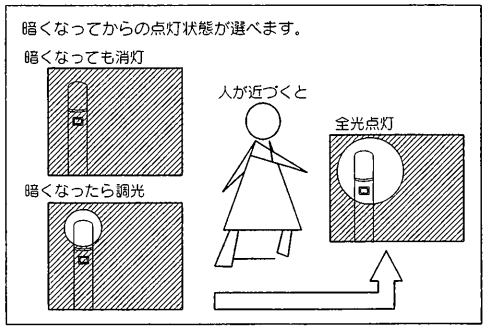
商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様・お客様へ　器具取り付けの際のご注意

人感センサー付照明器具

- センサーが人の動きを検知して自動的に点灯する機能を持っています。
- 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
- 暗くなってからの点灯方法が選べます。

1．消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
2．調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
3．調光点灯で６時間待機。６時間後は消灯で待機。人が近づくと点灯します。



事前にご確認ください

（２ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください。）

- 必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
- １つの壁スイッチには１台でご使用ください。
（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）
- 調光器のついている回路ではご使用になれません。
- 白熱灯は点滅が多いと短寿命になります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、取扱説明書に従い行ってください。
取り付けに不備がありますと、落下・感電・火災等の原因となります。　取り付け
- 必ずアースを取り付けてください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。　アース工事
（アースは法によりD種接地工事が必要です。）
- 照明器具及びセンサー部分を分解や改造したり、部品を変更しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。　改造
- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。
火災等の原因となります。　可燃物
- ランプに直接水をかけたり、器具のすきまなどに針金などを差し込まないでください。
ランプの破損によるけがや感電・火災の原因となります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

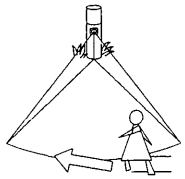
- 交流１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。
過電圧を加えるとランプ・器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。　電源電圧
- この器具は５～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。
- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。
やけどの原因となります。　接触禁止
- 塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。
部品の腐食や結露の原因となります。
- 振動の激しい場所や、器具に衝撃の加わる場所では使用しないでください。器具破損の原因となります。
- 水はけの悪い場所や常に水の溜まっている場所には埋設しないでください。転倒や結露の原因となります。
- 調光器による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと器具やランプが短寿命となります。
- ランプ交換の際は、必ず器具に表示されているランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。
間違った種類、ワット(W)数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形・変色したり火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。　電源を切って　OFF

■器具を取り付ける前に

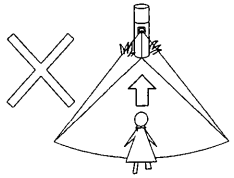
■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
■１つの壁スイッチには１台でご使用ください。（１つの壁スイッチで２台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。）

検知エリアを考慮して設置してください。

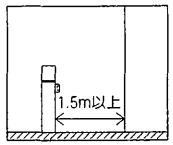
●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



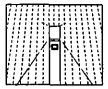
●センサー正面に向かって人が近づく様な位置にしますと、検知エリアに沿って人が接近した場合、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁等1.5m以上離して取り付けるかもしくはユニットの方向を調整してください。

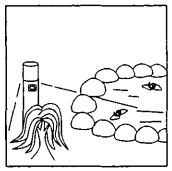


■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

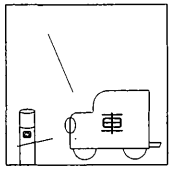


■次のような場所には取り付けないでください。（検知しなかったり、誤動作、故障の原因となります。）

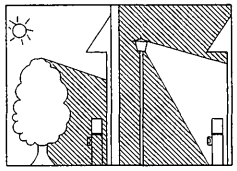
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



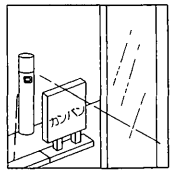
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



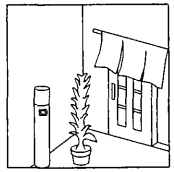
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。
●取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。壁スイッチを設置してください。



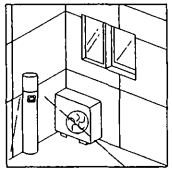
前面に障害物のある場所。
（透明なガラスでも遮断されます。）



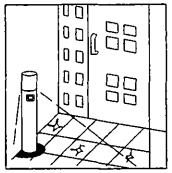
風などでよくゆれるのれんや、植物などがある場所。



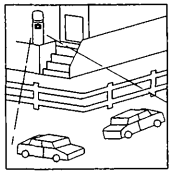
エアコンの吹き出し口の近く。
吹き出し口に対向する場所。



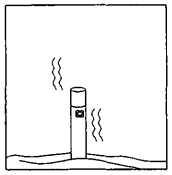
大理石など反射の強い床面のある場所。



検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。

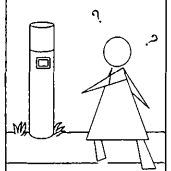


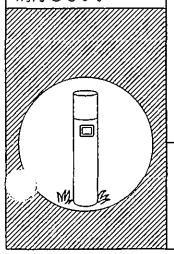
振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象		考えられる原因	処置方法
人が近づいても点灯しない。 	夜	ランプが切れている。	壁スイッチ（電源）を切ってから新しいランプに交換してください。
		壁スイッチ（電源）がオフになっている。	壁スイッチをオンにしてください。
		センサーの表面が汚れている。	柔らかい布で汚れをおとしてください。
		厚手の服を着ている。	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
		センサーに周りの照明器具の光が入っている。	センサーの検知部に他照明の光が入らないようにしてください。
		器具に向かってまっすぐ進んでいる。	センサー正面に向かって近づくと検知しにくい場合があります。 センサーの検知部を少しずらしてください。
		電源配線（接続）が正しく行われていない。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		壁スイッチ（電源）が故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理又は交換依頼してください。
		タイマー回路等に接続している。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
	夕方	点灯照度スイッチが「暗」になっている。	暗くならないと点灯（動作）しないようになっています。

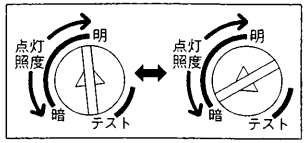
点灯したままで消灯しない。 			
	夜	連続点灯モードになっている。「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチを「オフ」にして４秒以上たってから「オン」にしてください。
		激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。
		「動作設定」スイッチが調光又は６時間調光に設定してある。	暗くなると点灯します。「5ページ」をご参照ください。
	昼	昼間でも周囲が暗い。「4ページ」をご参照ください。	昼間でも周囲が暗い場合はセンサーが夜と認識して点灯することがあります。
		「動作設定」スイッチが６時間調光に設定してある。	センサーが動作し、６時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。「5ページ」をご参照ください。

■設定方法

センサー底面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

ON-OFFモード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。

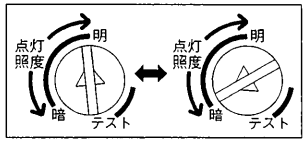


2．センサー「動作設定」のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

調光モード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。

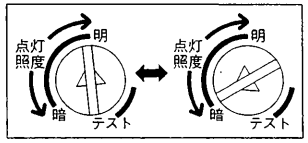


2．センサー「動作設定」のスイッチを「調光」に設定してください。

※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

６時間調光モード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



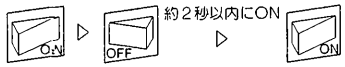
2．センサー「動作設定」のスイッチを「６時間調光」に設定してください。

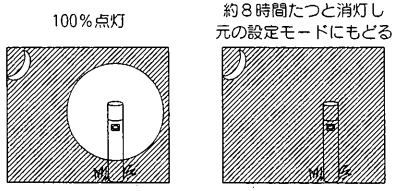
※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

連続点灯

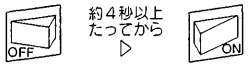
壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

1．壁スイッチを一度OFFさせて　2．すばやくONにする





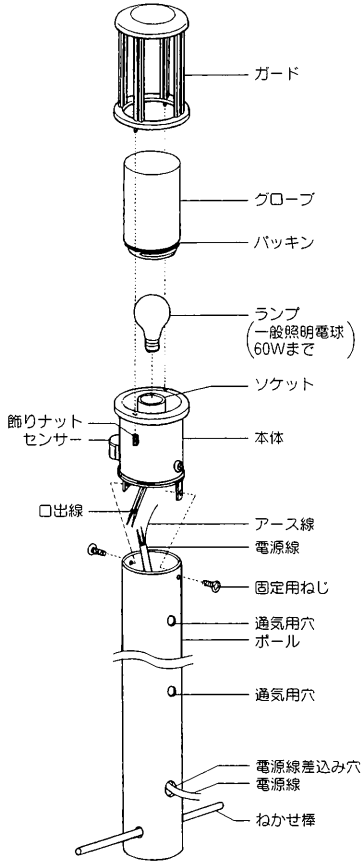
連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして４秒以上たってからONにする。



※「オン」直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。約１分後に設定モードで動作します。

■器具の取りつけかた

防雨形



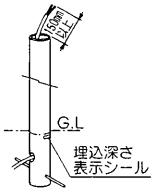
1．ポールの取り付け

(1)ポールの本体固定用ねじをゆるめて、本体を取り出してください。

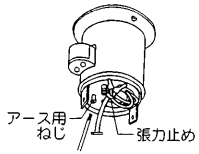
(2)電源線をポールの先端から150㎜以上出るように引き込み、ポールを垂直に埋込みしっかりと固定してください。
ポール回転防止のため、ねかせ棒を取り付けてください。

⚠注　意

必ず埋込み深さ表示シールの深さまで埋込んでください。
（埋込部分400㎜）（図－１）
水はけのよいところに施工してください。
（地質により水はけ対策をしてください。）
埋込み寸法が不十分ですと、倒れることがあります。



図－１



図－２

2．器具の取り付け

(1)飾りナットをはずしてガードを本体から離してください。
(2)電源線と口出線を接続してください。
(3)アース線を接続してください。（図－２）
(4)口出線を張力止めで固定してください。（図－２）
(5)本体をポール内に差し入れ、固定用ねじでしっかりと固定してください。
(6)ランプ（一般照明電球60Wまで）をソケットにねじ込んでください。
(7)グローブにパッキンを入れて本体にねじ込んでください。
(8)ガードを飾りナットで取り付けてください。

3．必要に応じて検知エリアを調整してください。

――テストモード　4ページ

⚠警　告

器具の取り付けは確実に行ってください。
取り付けが不十分ですと、落下・感電・火災等の原因となります。

⚠注　意

電球形蛍光灯は使用することができません。
器具・ランプの故障の原因となります。

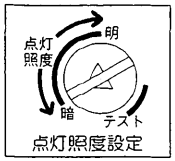
⚠警　告

通気用穴２箇所はふさがないでください。
ふさいでしまいますと、結露をおこしてご使用のランプが短寿命となります。

■センサーの名称

センサー底面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。

点灯照度スイッチ



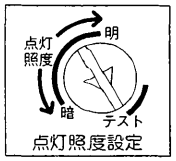
●出荷時は「暗」に設定してあります。

動作スイッチ

●出荷時は「６時間調光」に設定してあります。

設置後検知エリアを決める。　テストモード

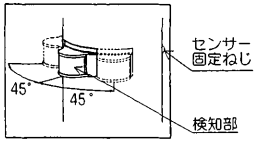
1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「テスト」に合わせます。



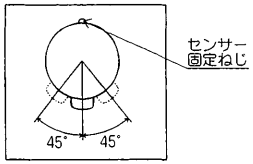
■周囲が明るい時でも、人を検知するたび、約５秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。

2．壁スイッチを「オン」にします。
※どのモードでも「オン」直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

3．センサーの検知部を動かして位置を決めてください。



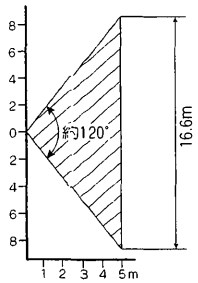
左右約45°移動



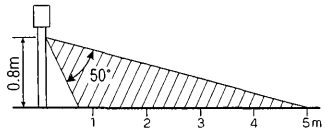
センサー部は左右約45°移動し、調整が出来ます。
センサー固定ねじをゆるめて検知エリア方向を決めてください。
設定後はセンサー固定ねじをしっかりと締め付けてください。
※調整範囲以上無理に動かさないでください。

センサーの検知範囲

●水平検知エリア



●垂直検知エリア



（ご注意）　検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）

4．点灯させる周囲の明るさを選択します。
『暗』　約10ルクスから点灯します。
『明』　約100ルクスから点灯します。
点灯照度は器具を取り付けられる周囲の明るさによって調整してください。

－設定例－

●点灯照度約10ルクス

●点灯照度約100ルクス

設定方法に進んでください。

ページ６へ

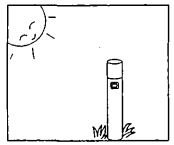
■センサー機能について

センサー底面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。（設定方法は『６ページ』）

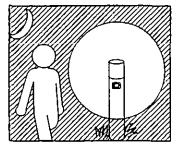
ON-OFFモード

人が近づいた時だけ明るくしたい

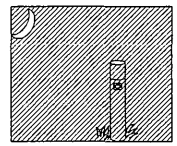
日中は消灯



暗くなって人が近づくと
100％の明るさで点灯



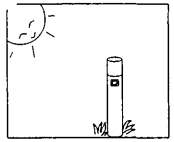
人がいなくなると
約60秒で消灯



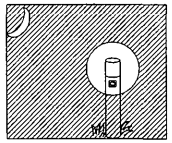
調光モード

一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい

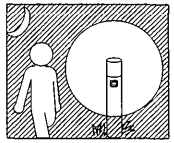
日中は消灯



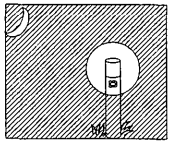
暗くなると
20％の明るさで点灯



人が近づくと
100％の明るさで点灯



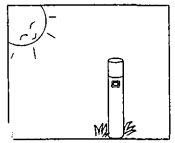
人がいなくなると
約60秒で20％の
明るさで点灯



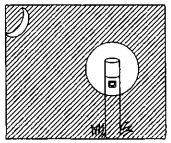
６時間調光モード

一晩中ほんのり点灯はもったいない

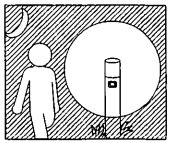
日中は消灯



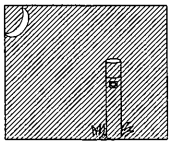
暗くなると
20％の明るさで点灯



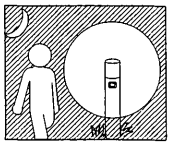
人が近づくと
100％の明るさで点灯



６時間後は消灯し
ON-OFFモードに



人が近づくと
100％の明るさで点灯



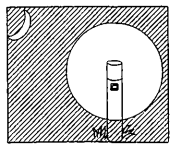
※周囲が暗くなってセンサーが動作すると、６時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。（明るくなっても消灯しません）
解除したい場合は、電源を切るか、センサーのモードを変更してください。

連続点灯

人がいなくてもずっと点灯してほしい

壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

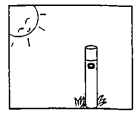
100％点灯



約８時間たつと元の
設定モードにもどる

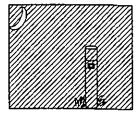
明るい時

どのモードでも
日中は消灯

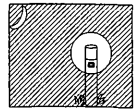


暗い時

ON-OFFモードに
設定しているとき



調光、６時間調光モードに
設定しているとき



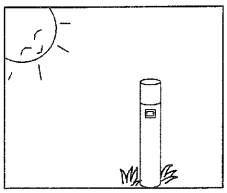
■センサー機能について

センサー底面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。（設定方法は『６ページ』）

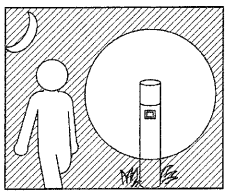
ON-OFFモード

人が近づいた時だけ明るくしたい

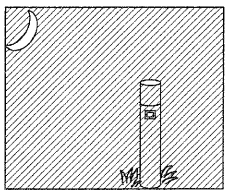
日中は消灯



暗くなって人が近づくと
100％の明るさで点灯



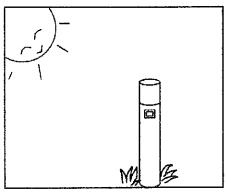
人がいなくなると
約60秒で消灯



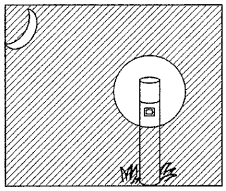
調光モード

一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい

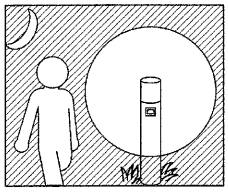
日中は消灯



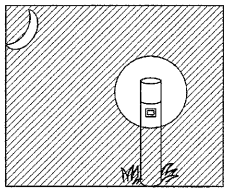
暗くなると
20％の明るさで点灯



人が近づくと
100％の明るさで点灯



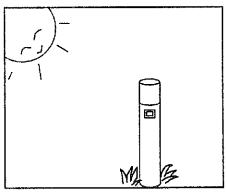
人がいなくなると
約60秒で20％の
明るさで点灯



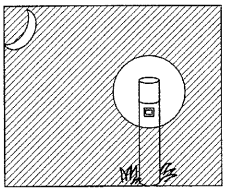
６時間調光モード

一晩中ほんのり点灯はもったいない

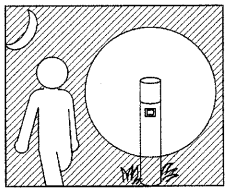
日中は消灯



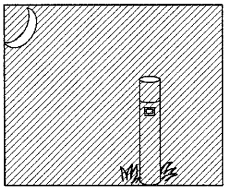
暗くなると
20％の明るさで点灯



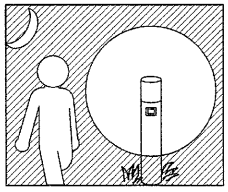
人が近づくと
100％の明るさで点灯



６時間後は消灯し
ＯＮ－ＯＦＦモードに



人が近づくと
100％の明るさで点灯



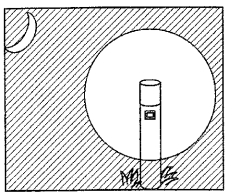
※周囲が暗くなってセンサーが動作すると、６時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。（明るくなっても消灯しません）
解除したい場合は、電源を切るか、センサーのモードを変更してください。

連続点灯

人がいなくてもずっと点灯してほしい

壁スイッチを操作して点灯させておくことができます。

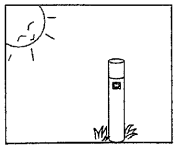
100％点灯



約８時間たつと元の
設定モードにもどる

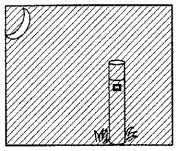
明るい時

どのモードでも
日中は消灯

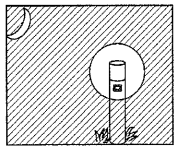


暗い時

ＯＮ－ＯＦＦモードに
設定しているとき



調光、６時間調光モードに
設定しているとき

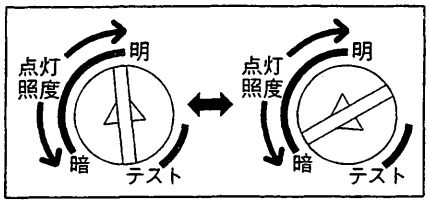


■設定方法

センサー底面の動作設定スイッチを調整することにより３つのモードに切り替えることができます。
又、壁スイッチの操作で連続点灯させることもできます。

ON-OFFモード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。

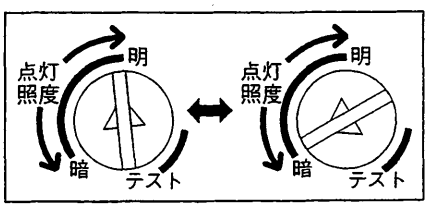


2．センサー「動作設定」のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

調光モード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。

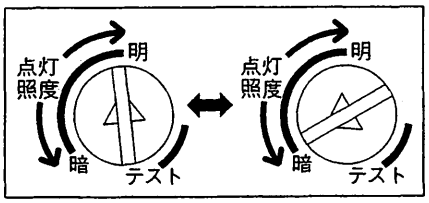


2．センサー「動作設定」のスイッチを「調光」に設定してください。

※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

６時間調光モード

1．センサー「点灯照度設定」のスイッチを「明」又は「暗」に設定してください。



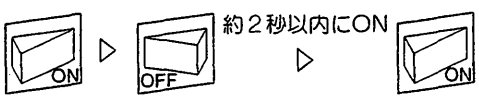
2．センサー「動作設定」のスイッチを「６時間調光」に設定してください。

※壁スイッチONにした直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。
約１分後に設定モードで動作します。

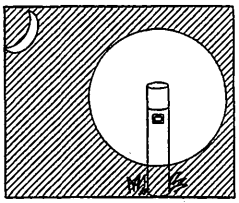
連続点灯

壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

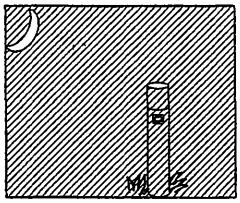
1．壁スイッチを一度OFFさせて　　2．すばやくONにする



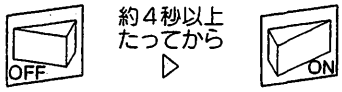
100％点灯



約８時間たつと消灯し元の設定モードにもどる



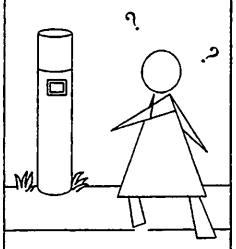
連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして４秒以上たってからONにする。

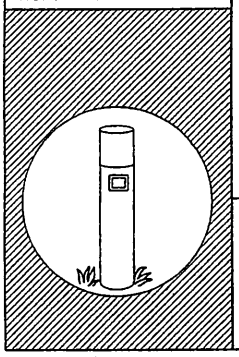


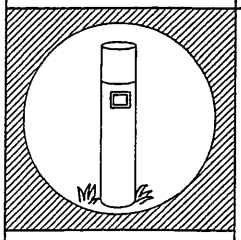
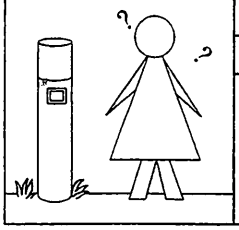
※「オン」直後はランプが点灯⇔消灯になりますが故障ではありません。約１分後に設定モードで動作します。

■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現　象		考えられる原因	処置方法
人が近づいても点灯しない。 	夜	ランプが切れている。	壁スイッチ（電源）を切ってから新しいランプに交換してください。
		壁スイッチ（電源）がオフになっている。	壁スイッチをオンにしてください。
		センサーの表面が汚れている。	柔らかい布で汚れをおとしてください。
		厚手の服を着ている。	センサーは熱に反応するため厚手の服に体温が閉じ込められ反応しない場合があります。
		センサーに周りの照明器具の光が入っている。	センサーの検知部に他照明の光が入らないようにしてください。
		器具に向かってまっすぐ進んでいる。	センサー正面に向かって近づくと検知しにくい場合があります。 センサーの検知部を少しずらしてください。
		電源配線（接続）が正しく行われていない。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		壁スイッチ（電源）が故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください。
		センサーが故障している。	お買い求めの販売店・工事店等に修理又は交換依頼してください。
		タイマー回路等に接続している。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
	夕方	点灯照度スイッチが「暗」になっている。	暗くならないと点灯（動作）しないようになっています。

点灯したままで消灯しない。 			
	夜	連続点灯モードになっている。 「6ページ」をご参照ください。	壁スイッチを「オフ」にして4秒以上たってから「オン」にしてください。
		激しい雨が降っている。	センサーレンズ面についた水滴を検知して点灯する場合があります。
		「動作設定」スイッチが調光又は6時間調光に設定してある。	暗くなると点灯します。 「5ページ」をご参照ください。
	昼	昼間でも周囲が暗い。 「4ページ」をご参照ください。	昼間でも周囲が暗い場合はセンサーが夜と認識して点灯することがあります。
		「動作設定」スイッチが6時間調光に設定してある。	センサーが動作し、6時間は周囲の明るさに関係なくセンサーが動作します。「5ページ」をご参照ください。

現　　象		考えられる原因	処　置　方　法
人がいないのに点灯している。		電源を「オン」にした。	電源を「オン」にした直後はランプが点灯⇔消灯します。約１分後に設定モードで動作します。
	夜	周囲が暗くなった。「動作設定」スイッチが調光又は６時間調光に設定してある。	暗くなると点灯します。 「5ページ」をご参照ください。
		検知エリア内に木や水面などがある。	人以外の熱源を検知しセンサーが動作することがあります。 検知範囲を調整するか熱源を取り除いてください。
		検知エリア内にペットなどの動物がいる。	
		検知エリア内に雨が入っている。	
		車の通りが激しい。	検知エリア内に道路などがあると車などに反応します。 検知範囲の調整をしてください。
検知エリアに人がいるのにランプが消えた。 	夜	検知エリア内で動かなかった。	検知エリア内にいても動きがない場合にはセンサーが反応しません。動くとランプが点灯します。
		ランプが切れた。	壁スイッチ（電源）をオフしてから新しいランプに交換してください。
		周りが明るくなった。	周りが明るくなると消灯します。

■お手入れのしかた

⚠ 注意　お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■器具はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
　このとき、ぬれた手でソケット部分にふれないでください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）
■ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

■器具に直接水をかけて洗わないでください。
　器具の破損・落下・感電などの原因となります。
■ランプは水洗いしないでください。
　ランプ破損によるけがや故障・感電の原因となります。

⚠ 注意

■器具やセンサーをいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
■金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
　傷つけたり腐食の原因となります。

⚠安全に関するご注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1. お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2. 施工上の不備に起因する故障や不具合
3. 使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4. 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5. 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6. 日本国内以外での使用による故障および損傷
7. 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1. 保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点(修理・取扱いのご相談)
は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合は、修理のお問合わせは、修理窓口へ
フロントセンター東京
☎(03)3424-1111　東京都世田谷区池尻3-10-3
フロントセンター名古屋
☎(052)721-0131　名古屋市東区矢田南5-1-14
フロントセンター関西
☎(06)6454-3901　大阪市北区大淀中1-4-13
・その他のお問合わせは、ご相談窓口へ
お客さま相談センター(フリーダイヤル)
(0120)139-365　東京都世田谷区池尻3-10-3

三菱電機株式会社
製造会社 三菱電機照明株式会社　〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf
照明技術相談センター (0120)348-027(フリーダイヤル)　☎(0467)41-2736　FAX(0467)41-2787